

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成26年3月6日 NO.95



モンタ博士「みなさん、おはようございます。この漢字（かんじ）むずかしそうだね。

読（よ）める人はいるかな？」

花ちゃん 「・・？

オー君 「・・？

モンタ博士「よく見てごらん。みんなの知っている文字（もじ）があるだろう。」

オー君 「あ！虫という文字がありまーす。」

モンタ博士「そうだね。よく見つけたね。虫がどうかしたのかな？」

花ちゃん 「・・・・・・。むずかしいですね。」

モンタ博士「この漢字はね、ちょっとむずかしい読み方をするんだ。『け・い・ち・つ』と読むんだよ。意味（いみ）はね・・・どうのことだろうね。考えてごらん。」

オー君 「・・・・。むずかしいですね。」

モンタ博士「ヒントはね、春ということかな。」

花ちゃん 「春といえば、あたたかくなるということですか。」

モンタ博士「ピンポン。そのとおりだね。春になるとね、どうなるかな。」

花ちゃん 「花がさきまーす。」

モンタ博士「それから、それから・・・・。」

オー君 「わかった。春になって、あたたかくなって、冬眠（とうみん）していた虫たちが出てくるということですね。」

モンタ博士「ピンポン。そのとおりだね。みんなのすんでいる国立は、花や虫がいっぱいで、自然も豊かでとてもステキな所だね。だから、いっしょにたくさんの春を見つけよう。」

花ちゃん 「あの一、モンタ博士！『啓蟄（けいちつ）』って、あまりきいたことがない言葉ですが、どうしてそんなにむずかしい言葉があるんですか。」

モンタ博士「うれしいね。とてもとてもいい質問（しつもん）だね。あのさ、花ちゃん、立春（りっしゅん）とか、春分（しゅんぶん）の日、秋分（しゅうぶん）の日、それに、冬至（とうじ）とか夏至（げし）とか・・・・聞いたことあると思うけど・・・・。」

花ちゃん 「立春って、たしか、節分（せつぶん）の次の日ですよ。」

オー君 「おいらも思い出したよ。豆まきした次の日が立春だ。」

モンタ博士「そうだね。そして、今日3月6日は『啓蟄』と言うんだ。このように、昔の人は、季節（きせつ）を表す『こよみ』というのが24個もあったのさ。」

オー君 「え！24個！」

花ちゃん 「どうして、24個もあるんですか。」

オー君 「モンタ博士！どうして、どうしてですか。教えてください。」

TO BE CONTINUED